



平成25年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年8月8日

上場会社名 SBSホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2384 URL <http://www.sbs-group.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鎌田 正彦
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 掛橋 幸喜 TEL 03 (3829) 2222
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第2四半期の連結業績（平成25年1月1日～平成25年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第2四半期	61,805	△1.7	703	△47.2	534	△62.4	149	△81.9
24年12月期第2四半期	62,846	8.3	1,332	156.4	1,422	390.1	829	—

(注) 包括利益 25年12月期第2四半期 493百万円 (△41.9%) 24年12月期第2四半期 848百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第2四半期	11.72	11.67
24年12月期第2四半期	66.92	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年12月期第2四半期	104,550	27,763	26.2
24年12月期	104,466	27,750	26.2

(参考) 自己資本 25年12月期第2四半期 27,441百万円 24年12月期 27,401百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	0.00	—	40.00	40.00
25年12月期	—	0.00	—	—	—
25年12月期(予想)	—	0.00	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成25年12月期の連結業績予想（平成25年1月1日～平成25年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	128,000	0.1	3,100	6.9	2,700	△2.4	1,100	△33.2	86.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年12月期2Q	13,068,400株	24年12月期	13,068,400株
② 期末自己株式数	25年12月期2Q	258,368株	24年12月期	308,641株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年12月期2Q	12,786,873株	24年12月期2Q	12,392,630株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しています。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新政権による大胆な金融緩和や財政政策への期待感を背景として、株価の上昇や円高の是正が進行したことにより企業を取り巻く環境に明るい兆しが見え始めました。しかしながら、実体経済は依然として停滞が続いており、先行き不透明な状況となっております。

物流業界では、高齢化や生産人口の減少、調達・生産・販売における海外比率の上昇などにより国内貨物総輸送量の減少が続いております。市場の縮小によって業者間競争が一層激化しているほか、お客様の物流費抑制や燃料調達単価の不安定な動向などが加わり、収益確保は一段と厳しさを増しております。

このような環境の中、当グループは、認知度や一体感を高めることを目的に6月1日にブランド統一を実施いたしました。当グループの新しいシンボルマークやスローガンの導入、物流事業を担う14社の社名を「SBS」を冠した社名に変更いたしました。制服統一、車両塗装や施設看板の変更など多額の投資を伴いますが、長期的な業容拡大に必ず寄与するものと考えております。

一方、業界トップ10入りを目指して掲げる“全方位の物流機能を有する3PL企業集団”に向けて、事業戦略、投資戦略、海外戦略の推進に取り組みました。

事業戦略では、3PL事業を加速するため提案営業を積極的に展開したほか、ドラッグストア、ホームセンター、眼鏡レンズメーカー向け物流センターの新規稼働などや音楽・レンタル産業向け物流センターの移転・集約に取り組みました。

投資戦略では、当連結会計年度より開始する太陽光発電事業の設備工事に着工、3月には野田吉春物流センター屋上で売電を開始しました。横浜市長津田においては、大手食品メーカー向けの物流センター建設に着工、2014年秋完成をめざしております。

海外戦略では、3月に香港に中国市場統括会社と香港での事業会社の現地法人2社を設立し、4月から日系メーカー向けの事業を開始しております。日系企業の進出が著しいタイでは、翌連結会計年度に向けて物流拠点を建設する検討を進めております。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、依然として消費が回復していないことなどから618億5百万円（前年同四半期比1.7%減）となりました。営業利益は、北日本の雪害影響や一部食品系物流センターの稼働率低下、競争激化による単価下落などにより7億3百万円（同47.2%減）、経常利益は5億34百万円（同62.4%減）となりました。物流センター移転・集約やブランド統一の費用などを特別損失として計上しましたが、投資有価証券や有形固定資産の売却益などの特別利益を加え、四半期純利益は1億49百万円（同81.9%減）となりました。

セグメント別の経営成績は以下のとおりであります。

(物流事業セグメント)

物流事業では、営業活動の強化に努めるとともに、新たに獲得した3PL業務向け物流センターの開設や既存の物流センターの移転・集約に取り組みました。売上高は、低調な消費動向による荷動きの低迷や季節要因による食品関係の物量の落ち込みなどにより578億1百万円（前年同四半期比1.3%減）となりました。一方、1～2月の北日本の雪害影響によるコスト増、一部食品系物流センターの稼働率低下、即日配送の競争激化による単価下落などが影響し、77百万円の営業損失（前年同四半期は6億83百万円の営業利益）となりました。

(不動産事業セグメント)

不動産事業は、前連結会計年度に持分を買い増した賃貸用不動産施設の賃料収入が寄与し、売上高は13億44百万円（前年同四半期比12.0%増）、営業利益は6億94百万円（同16.9%増）となりました。

(その他事業セグメント)

その他事業は、発送代行事業の子会社を連結対象外としたことなどにより売上高は26億59百万円（前年同四半期比13.3%減）となりました。営業利益は、マーケティング事業および環境事業の回復、人材事業の赤字幅縮小により31百万円（前年同四半期比29.2%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、1,045億50百万円となり、前連結会計年度末に比べ83百万円増加いたしました。

資産増加の主な内訳は、現金及び預金や有価証券の減少により流動資産が15億79百万円減少した一方、物流拠点用地取得による土地の増加や車両の入れ替えならびに新センターや新業務向け器具備品購入などで固定資産が

16億62百万円増加したことによるものであります。

負債は、767億87百万円となり、前連結会計年度末に比べ70百万円増加いたしました。これは主として、短期借入金の純減など流動負債の減少26億44百万円があった一方で、長期借入金など固定負債の増加27億15百万円によるものであります。

純資産は277億63百万円となり、前連結会計年度末に比べ12百万円増加いたしました。これは主として、配当金5億10百万円の支払いがあった一方で、その他有価証券評価差額金1億31百万円、為替換算調整勘定1億96百万円の増加や四半期純利益1億49百万円の計上によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期終了時点における業績は、平成25年2月8日に公表いたしました第2四半期(累計)の業績予想値に対して、売上高0.3%減、営業利益12.1%減、経常利益6.8%増、四半期純利益49.0%増となっており、売上高及び営業利益は予想より若干下振れているものの、概ね当初計画の範囲内で推移しております。

今後の経営環境は、円安の進行による燃料価格の高騰やさらなる競争激化が想定されますが、国内景気は経済・金融政策の浸透により緩やかに回復するものと考えております。

これらを勘案し、平成25年2月8日に公表いたしました通期の連結業績予想は変更いたしません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年1月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、これによる当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,180,787	8,284,563
受取手形及び売掛金	15,080,274	15,093,426
たな卸資産	7,628,511	7,916,396
その他	6,330,377	6,323,252
貸倒引当金	△69,955	△47,000
流動資産合計	39,149,995	37,570,638
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	36,564,409	36,258,715
減価償却累計額及び減損損失累計額	△21,618,376	△21,236,563
建物及び構築物(純額)	14,946,032	15,022,151
機械装置及び運搬具	15,797,504	15,371,043
減価償却累計額及び減損損失累計額	△13,436,258	△12,552,377
機械装置及び運搬具(純額)	2,361,246	2,818,665
土地	33,671,842	34,395,635
リース資産	4,751,726	5,204,449
減価償却累計額及び減損損失累計額	△2,196,882	△2,171,204
リース資産(純額)	2,554,844	3,033,244
その他	3,344,534	3,522,615
減価償却累計額及び減損損失累計額	△2,355,602	△2,341,875
その他(純額)	988,932	1,180,740
有形固定資産合計	54,522,897	56,450,436
無形固定資産		
のれん	1,078,891	1,070,713
その他	699,605	900,417
無形固定資産合計	1,778,496	1,971,130
投資その他の資産		
投資その他の資産	9,292,475	8,870,212
貸倒引当金	△276,866	△311,951
投資その他の資産合計	9,015,609	8,558,260
固定資産合計	65,317,003	66,979,828
資産合計	104,466,998	104,550,466

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,626,827	7,337,550
1年内償還予定の社債	256,000	256,000
短期借入金	18,014,227	13,928,984
1年内返済予定の長期借入金	7,950,719	9,158,289
未払法人税等	556,610	255,385
賞与引当金	628,097	672,359
その他	6,297,224	7,077,057
流動負債合計	41,329,707	38,685,627
固定負債		
社債	1,174,000	1,046,000
長期借入金	20,913,930	23,183,992
退職給付引当金	3,519,012	3,526,421
その他	9,779,470	10,345,003
固定負債合計	35,386,414	38,101,417
負債合計	76,716,122	76,787,045
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,833,934	3,833,934
資本剰余金	5,418,063	5,428,384
利益剰余金	18,407,178	18,046,641
自己株式	△286,424	△239,782
株主資本合計	27,372,750	27,069,177
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	161,616	293,393
繰延ヘッジ損益	△49,046	△34,328
為替換算調整勘定	△83,553	112,814
その他の包括利益累計額合計	29,016	371,880
新株予約権	34,620	39,748
少数株主持分	314,488	282,614
純資産合計	27,750,876	27,763,420
負債純資産合計	104,466,998	104,550,466

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
売上高	62,846,534	61,805,564
売上原価	56,711,982	56,383,428
売上総利益	6,134,552	5,422,135
販売費及び一般管理費	4,801,938	4,718,276
営業利益	1,332,613	703,858
営業外収益		
受取利息	7,737	5,762
受取配当金	36,661	43,275
持分法による投資利益	359,984	60,890
その他	80,126	87,229
営業外収益合計	484,509	197,157
営業外費用		
支払利息	307,522	293,527
その他	87,518	73,134
営業外費用合計	395,041	366,661
経常利益	1,422,081	534,354
特別利益		
固定資産売却益	59,205	72,900
投資有価証券売却益	—	285,350
補助金収入	31,149	—
その他	7,110	—
特別利益合計	97,465	358,250
特別損失		
固定資産売却損	33,093	77,450
事業所移転費用	—	191,637
ブランド統一費用	—	68,300
減損損失	47,849	—
厚生年金基金脱退拠出金	46,151	—
その他	13,976	27,852
特別損失合計	141,071	365,241
税金等調整前四半期純利益	1,378,476	527,363
法人税、住民税及び事業税	324,297	220,475
法人税等調整額	242,815	163,659
法人税等合計	567,112	384,134
少数株主損益調整前四半期純利益	811,363	143,228
少数株主損失(△)	△17,996	△6,624
四半期純利益	829,360	149,853

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	811,363	143,228
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△14,129	128,096
繰延ヘッジ損益	16,954	14,718
為替換算調整勘定	32,412	202,900
持分法適用会社に対する持分相当額	1,763	4,208
その他の包括利益合計	37,001	349,923
四半期包括利益	848,365	493,151
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	865,049	492,717
少数株主に係る四半期包括利益	△16,684	434

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年1月1日至平成24年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	物流事業	不動産事業	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	58,579,214	1,200,553	3,066,766	62,846,534	—	62,846,534
セグメント間の内部 売上高又は振替高	155,072	9,096	124,925	289,094	△289,094	—
計	58,734,287	1,209,649	3,191,691	63,135,628	△289,094	62,846,534
セグメント利益	683,870	594,258	24,639	1,302,768	29,845	1,332,613

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去6,935千円及び各報告セグメントに配分していない親会社(四半期連結財務諸表提出会社)に係る損益22,909千円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	物流事業	不動産事業	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	57,801,359	1,344,586	2,659,617	61,805,564	—	61,805,564
セグメント間の内部 売上高又は振替高	83,382	5,976	197,743	287,102	△287,102	—
計	57,884,742	1,350,562	2,857,360	62,092,666	△287,102	61,805,564
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△77,029	694,928	31,826	649,724	54,133	703,858

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去△18,051千円及び各報告セグメントに配分していない親会社(四半期連結財務諸表提出会社)に係る損益72,185千円であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。